

実践例

社会科学習指導案（地理的分野）

日 時

対 象

指導者

1 単元 第1編 世界と日本の姿 第2章 日本の姿

2 本時の実際

(1) 主題 「北方領土・竹島と尖閣諸島 領土をめぐる問題をかかえる島々」

(2) 本時の目標 ※ 観点はいずれも【主体的に学習に取り組む態度】

ア 北方領土問題と奄美の日本復帰について、意欲的に追究しようとしている。

イ 北方領土問題を自分事として捉え、平和的な解決を目指して追究しようとしている。

ウ 奄美群島の日本復帰から北方領土問題についての考えを協働的に追究しようとしている。

(3) 本時のねらい

本時は、世界と日本の地域構成の単元において我が国の領土をめぐる問題、特に北方領土問題について学習する。我が国の領土をめぐる問題については、系統的かつ主体的に学習できるような工夫が求められる。中学校3年間で系統的に学習を進めるなかで、まず我が国の領土をめぐる問題に興味・関心をもち、主体的に学習に取り組む態度を育成することが重要であると考え。そのため、本時では、生徒たちが暮らしている奄美大島の日本復帰から北方領土問題について考えを深めることを学習目標とした。目標達成のために、北方領土における占領下での生活と奄美大島における米軍統治下での生活、北方領土返還運動と奄美群島復帰運動を関連付けて考えたり、郷土の偉人で「奄美のガンディー」と呼ばれる泉芳朗氏が掲げた「非暴力・平和主義」の理念を学んだり、北方領土の元島民や奄美群島の復帰運動関係者の話を動画で観たりすることを取り入れた。これらの学習によって、北方領土問題を自分事として捉え、平和的な手段で解決を目指す態度の育成につながると考えた。

また、今回は宇検村内の4つの中学校が集まって合同で学習する集合学習での授業である。4校とも小規模校であるため、多様な考えや価値観に触れる経験が少ない。そのため、今回の授業では、Google jamboardやGoogle ドキュメントを活用し、生徒どうしの考えを即時に共有することを取り入れた。ICT活用により、多様な考えや価値観から自分の考えをより深めることにつなげたいと考える。

(4) 本時の展開

過程	学習内容	時間	指導上の留意点
導 入	1 奄美大島と沖縄県の日本復帰の日、 北方領土の日をクイズで解く。	5	1 Google jamboard を活用して、クイズ形式で本時の興味・関心を高める。 2 竹島の日（2月22日）と尖閣諸島の日（1月14日）にも触れる。
	2 本時の学習目標を確認する。 奄美群島の日本復帰から北方領土についての考えを深めよう	2	
	3 学習前に北方領土問題について知っていることや学んだことを挙げる。	5	3 Google ドキュメントを活用して、全体で共有する。

展 開	4 北方領土問題についての概要（位置、自然環境、産業、歴史等）を学ぶ。	15	4 北方領土問題対策協会作成の動画「シマフクロウとピリカちゃんの北方領土問題って何？」（約7分）を活用し、スライドで補足を行う。
	5 奄美大島の日本復帰について学ぶ。	12	5 アメリカ統治下の生活，復帰運動の様子について写真を用いて紹介する。
	6 2人の当事者（元島民・復帰運動体験者）からのメッセージを観て、本時のまとめと振り返りを行う。	8	6 北方領土問題対策協会作成の動画等を観て、本時の授業で大切だと思ったことや今後学びたいことを Google ドキュメントで共有する。
終 末	7 今後の学習の見通しを立てる。	3	7 中学校3年間で系統的に北方領土について学んでいくことやロシアのウクライナ侵攻が北方領土問題に影響を与えていることに触れる。

(5) 評価

- ア 北方領土問題と奄美の日本復帰について、意欲的に追究することができている。
- イ 北方領土問題を自分事として捉え、平和的な解決を目指して追究することができている。
- ウ 奄美群島の日本復帰から北方領土問題についての考えを協働的に追究することができている。

○ 授業での生徒の考え（Google ドキュメントで集約・共有）

【学習目標】 奄美群島の日本復帰から北方領土についての考えを深めよう！

Q1、（学習する前）北方領土について、これまでの授業やニュース等で知っていることを書きましょう。

Q2、（学習した後）北方領土について、今日の授業で大切だと思ったことや今後学びたいこと、疑問に思ったことを書きましょう。

名前	学習する前	学習した後
A	ロシアが占領	1人1人が、その島のために他人事にしないで、できることを考えて、暴力を使わずにやっていた。
B	ロシアと争っている（勝手に住んでいる）	北方領土や、奄美大島の領土問題についてみんなで声をあげると成功するんだと思いました。みんなで心をひとつにして非暴力で本土に復帰できて素晴らしいなと思いました。
C	ロシアと争っている	いろんな人が協力しないといけないということがわかった。ロシアの人にも理解してもらわないといけない。
D	ロシアと争っている（ロシアが占領している）	北方領土、奄美のことが詳しくわかりました。私は早く争いを終わらせてみんなと自由で平和に暮らしていきたいです。
E	ロシアが勝手に占領している。 ・択捉島・国後島・歯舞群島	北方領土の人は暴力を使わないで解決に取り組んでいて自分たちにできることを一生懸命していたことがわかりました。
F	ロシアと争っている	奄美や北方領土の人たちがどんな思いだったのかがわかりました。

G	ロシアが占領している(住んでいる)	他国との領土問題、北方領土、昔の奄美もみんなで協力して数十年かかっても取り戻そうとしてきている。いまの領土問題も奄美のように平和的に解決したい
H	北方領土はどこかの国に占領されている？	北方領土問題は知ってたけど奄美のことについては今日動画などを見て他の問題などをもっと知り出来ることを増やしたいと思った。昔から奄美のみんなで支えあっていたんだと感じた。
I	択捉島、竹島、国後島、歯舞群島、尖閣諸島	もっと奄美のことや北方領土のことを知りたいと思いました。沖縄も同じだったのかと思いました。奄美にも苦しい思いをした人がたくさんいることを知りました。
J	ロシアが勝手に占領していて、日本は今でも抗議を続けてる。	北方領土や奄美の復帰もみんなで協力してやっている。
K	択捉島、歯舞群島、国後島、色丹島 ロシアに択捉島は、占領されている	昔の事を知らなければ今後どうすればいいかが分からないと思います。今は現状を知ることが大切。もっと北方領土の事を知りたい。戦争を生きている人は、すごい。
L	ロシアの人が住んでいること ロシアにこと占領されていること	自分たちも関係無いと思わず奄美と北方領土のことも考えようと思った。
M	ロシアが占領している ロシア人が住んでいる	2月7日が北方領土だということを知りました。これから忘れないようにしたいです。自分たちが出来ることをしたいです

○ 生徒の感想（一部）

名前	感想
A	日本の領土ということ、忘れずに住民の人全員が立ち上がっていたことを自分たちも忘れないで未来につなげたい
B	北方領土や奄美大島の領土問題についてみんなで考えることができました。暴力を使わないでみんなで声をあげていてすごいなと思いました。いろいろな領土問題についても考えていきたいです。
D	みんなと北方領土や、奄美大島のことについて詳しくみんなで考えながらできたので良かったです。
E	みんなで話し合ったりして北方領土の問題について前よりも知ることができました。また、もっとしれるといいです
H	いつもより人数が多かったから色々な意見を聞きながら授業をできたので良かった。またみんなで社会したい。
I	久しぶりの社会を集合学習でみんなと、奄美のことや北方領土のことを詳しく知ることができてとてもよかったです。
J	北方領土のことや奄美の復帰のことなどたくさんいろんなことが知れてとても楽しかったです。初めてしたことあってもまだ知りたいことがたくさん見つかったのでこれからたくさん調べていきたいです。
K	みんなと話して楽しかった
L	自分たちの国に問題があるということをあまりしらなかったのもっと考えたいと思った